

三郎山論集5（上田女子短期大学 日本語教育研究会・国語研究倶楽部共同機関誌）1998.3

*エッセイ 私の見たニッポン
—国際化の中の止揚—

孫 明珠

国土の面積を比較すると、日本は中国の25分の1です。しかしながら、「made in Japan」というマークのついている商品は、世界の至る所にあふれています。

中学生の頃、道路には、「トヨタ」「日産」の車がたくさん走っていました。デパートの中には、「National」「SONY」等の電気製品が大量に置いてありました。こうした光景を目の当たりにして、私および私と同じ民族意識を持っている人たちは、日本製品を排斥する気分が高かったのです。ショックでしたが、日本製品の流入は阻止しきれず、その品質の良さと綺麗なデザインを売り物にして、中国の一般大衆の信頼を獲得しました。

なぜ、小さな国でありながら、そんなに力を持っているのだろうか？こうした疑問を感じてから、年齢の増加とともにその解答を捜す興味がますます強くなりました。

今回、留学のチャンスに恵まれたおかげで、私は初めて日本に来ました。この8カ月の間に、たくさんの日本人と接触したり、いろいろな本を読んだりしました。そうして、なんとなくですが、この疑問の解答に目星が付いてきたように感じています。

日本の急速な発展には、原因がたくさんありますが、ここでは「国際化の中の止揚」というテーマでまとめて見たいと思います。

「止揚」という言葉は、一言で言えば、「その精華を取り、その雑物を捨てる」という意味だと思っています。

10月の文化祭の時に、茶道部のコーナーでお茶をいただきました。その素晴らしいお手前を見ながら、先生の熱心な説明を伺いました。

「茶道は、実に唐の時代、中国から学んだものです。」

この説明をお聞きして、感慨深いものがありました。どうして中国には、こんな素晴らしいものが残っていないのだろうか。反対に、日本人が学び吸収して、自家葉籠中のものとして輝かせています。これは、文化上の「止揚」ではありませんか。このような例はたくさん挙げられます。経済大国としての日本は、「止揚」の現れ方が経済上、最も著しい例です。

「日本人は発明力が弱い。しかし、革新力は驚くほど強い。」

これは、たぶん世界の共通認識だと思います。後発国の日本にとって、戦後の経済発展は、ずっと欧米先進諸国を追いかける歴史でした。西洋の技術や既存の製品と機械設備を導入して、一生懸命改良し、国情から実用性と高品質とをたえず追求していました。これによって、経済が急速に発展しました。

つまり、文化についても、経済についても、国際化の中で「止揚」は、日本人に力強くのびのびと発揮されています。

これから、中国でも、改革開放の政策により、国際化が進んでいくことと思いますが、「止揚」は、中国にとって発展のカギだと思います。

（そん めいしゅ / 1997年度留学生 / 北京市西城区外事弁公室）

*エッセイ 私の見たニッポン

李 爽

日本に来て、あっという間に8カ月近くになりました。この期間の中で、上田の人々が大変親切なことに強く感動しました。短大の先生方や学生のみなさん、それに下宿の大家さんはもちろん、見知らぬ人からも親切にいただきました。

一番印象深かったことは、上田に来たばかりの頃に起こった小さな出来事です。下宿で生活を始めはしたものの、まだ周りの道はよくわかりません。ですから、外出の度にあちこちで道を尋ねることになります。

それは、孫さんと二人で、自転車に乗って初めて買い物に出かけた日のことです。帰る途中で、道が違っているような気がしました。それで、オートバイに乗っていた学生らしい男子に道を尋ねました。すると、彼は道順を教えてくれたのみならず、わざわざ家に戻って上田市の地図を持って来て、私たちに見せてくれました。地図を見ながら、道順をもう一度確認しました。おかげで、私たちは無事に下宿に戻ることができました。

この出来事は、本当に小さなことですが、ここに住む人々の親切が現われています。普通ならば、道を教えるだけで十分です。でも、彼のように念の為に地図まで持って来てくれるとは思ってもよらなかったことでした。私は、とても感動しました。

教室で印象に残っているのは、日本の先生は、自分で黒板を拭くということです。中国では、学生が黒板を拭きます。そうすることで、先生に尊敬の意を示すのです。学生が黒板を拭くのは、当たり前なことなのです。ところが、日本人の考えでは、自分のことは自分でやり、他の人に迷惑をかけないことが大切なようです。

これは、ほかにも例が挙げられます。来日当初は、マスクをかけている人の姿がよく目につきました。あまり寒くない頃でしたので、どうしてマスクをかけるのか、なかなか理解できませんでした。その後、短大の先生のお一人もマスクをおかけになりました。伺ってみると、最近風邪を召されたとのことでした。他の人に風邪がうつらないようにマスクをされたことがわかりました。

すなわち、自分が我慢して、周りの人に迷惑をかけたがりません。日本人は、別の人の角度から問題を考えることが得意です。これは日本人の特徴の一つです。

8カ月を通して、日本をすべて理解することは不可能です。でも、いろいろな体験ができました。よい思い出になります。

(り) そう／1997年度留学生／北京市公用局教育中心)